

I. 中心市街地全体に係る評価

○計画期間：平成30年4月～令和5年3月（5年）

1. 計画期間終了後の市街地の概況

本市では、平成30年3月に高知市中心市街地活性化基本計画（第二期計画）の認定を受け、①「すべての世代が長く住み続けられるまち」、②「多くの人が回遊するまち」③「また訪れたいと思うまち」の実現を目標とし、中心市街地活性化に向け各事業に取り組んできた。

①「すべての世代が長く住み続けられるまち」の観点では、丸ノ内緑地の整備等による環境整備により、「居住する場所」として中心市街地の魅力が向上したほか、中心市街地エリアにおいて計画期間中に13棟の民間分譲マンションが整備されたことにより、まちなかへの居住が増加傾向にある。

②「多くの人が回遊するまち」の観点では、平成30年7月の県市合築の新図書館等複合施設「オーテピア」のオープンをきっかけとして、中心商店街とオーテピアを回遊する新たな人の流れが生まれ、オーテピアと隣接する商店街では新規出店が相次ぎ、歩行者通行量も増加傾向にあった。

しかし、令和元年末に端を発する新型コロナウイルスの感染拡大状況は、一定の周期ごとに感染拡大の波を繰り返し、まん延防止等重点措置の適用や、それに伴う飲食店への時短営業、外出自粛の要請等に起因し、来街者が減少した。これまで実施してきたソフト事業についても新しい生活様式に対応した実施方法への転換を余儀なくされ、事業規模の縮小や中止が相次いだ。計画期間の最終年度である令和4年度は新型コロナウイルス感染状況に留意しつつ、前年度中止となっていた「よさこい祭り」や「大道芸フェス」等の大規模イベントの開催、「土曜夜市」、「龍馬生誕祭」、「TSUNAGUマーケット～高知家の底チカラ～テイクアウトフェスタ」等昨年度に引き続き実施されたイベントにより、中心市街地のにぎわい創出に寄与した。また、中心市街地東エリアの拠点施設である高知大丸東館のリニューアルやクリスマスマーケット等が実施された東エリアにおける歩行者通行量は、新型コロナウイルス感染症拡大前と同程度の水準まで回復している。

③「また訪れたいと思うまち」の観点では、オーテピアの開館及び各施設と商店街の連携したソフト事業の取り組み等の効果により、評価指標である拠点施設入館者数は、令和元年度は1,680,926人と、目標を達成見込みであったが、前述の新型コロナウイルス感染症の影響に加え、かるぽーとの大規模改修に伴う休館により、目標数値を達成することはできなかった。一方、令和5年度以降については新型コロナウイルス感染症の一定の収束を踏まえ、外国船クルーズの再開によるインバウンドや、NHK連続テレビ小説「らんまん」の放送開始に合わせた観光キャンペーンによる国内観光客の増加が始まっていることから、こうち観光ナビ・ツーリストセンター等の中心市街地に整備された施設の活用や、学生・商店街など多様な団体が連携したインバウンド対策等、来街者が「また訪れたい」と思う仕掛けづくりに引き続き注力していく。

【中心市街地の状況に関する基礎的なデータ】

(1)居住人口

（基準日：毎年度1月1日） 単位：人

（中心市街地 区域）	平成29年度 （計画前年度）	平成30年度 （1年目）	令和元年度 （2年目）	令和2年度 （3年目）	令和3年度 （4年目）	令和4年度 （最終年度）
人口	5,019	5,103	5,271	5,532	5,541	5,767
人口増減数	-79	84	168	261	9	226
自然増減数	-46	-61	-37	-54	-63	-60

社会増減数	-24	150	214	306	75	287
その他の増減数(帰化・国籍喪失等)	-9	-5	-9	9	-3	-1
転入者数	394	579	654	719	510	692

(データ：住民基本台帳)

## (2) 店舗数

(基準月：毎年12月)

(中心市街地区域)	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	令和4年度 (最終年度)
中心市街地全体	540	569	568	555	552	547
はりまや橋商店街	34	35	37	36	37	38
京町・新京橋商店街	51	49	46	49	47	48
壱番街商店街	31	31	31	31	30	32
帯屋町一丁目商店街	90	92	91	88	88	86
帯屋町二丁目商店街	45	48	48	43	44	45
おびさんロード商店街	48	49	50	48	45	45
中の橋商店街	47	42	47	47	48	50
柳町商店街	70	68	69	69	66	64
大橋通り商店街	43	43	41	36	39	36
魚の棚商店街	22	23	20	19	19	18
天神橋通商店街	30	32	31	31	32	31
菜園場商店街	32	54	55	58	56	54
升形商店街	33	39	38	36	37	36

(データ：「商店街空き店舗調査」(高知市、高知商工会議所実施))

※複数商店街への重複店があるため、中心市街地全体の店舗数は各商店街の店舗数合計と一致しない。

## (3) 地価

(基準日：毎年度1月1日)

単位：円

(中心市街地区域)	平成29年度 (計画前年度)	平成30年度 (1年目)	令和元年度 (2年目)	令和2年度 (3年目)	令和3年度 (4年目)	令和4年度 (最終年度)
中心市街地全地点の平均	187,750	191,625	192,625	190,625	188,875	188,500
本町1丁目29番外	252,000	252,000	253,000	252,000	251,000	251,000
廿代町318番	139,000	139,000	139,000	137,000	135,000	134,000
升形52番	148,000	147,000	146,000	144,000	142,000	141,000
本町2丁目104番	158,000	158,000	158,000	158,000	158,000	158,000
はりまや町1丁目108番(※)	198,000	225,000	225,000	221,000	217,000	216,000
帯屋町1丁目170番外	256,000	261,000	269,000	264,000	260,000	260,000
はりまや町1丁目333番1外	182,000	182,000	182,000	181,000	180,000	180,000
本町5丁目52番	169,000	169,000	169,000	168,000	168,000	168,000

(データ：国土交通省地価公示・都道府県地価調査)

※はりまや町1丁目108番の調査地点については、平成29年度までははりまや町3丁目76番、平成30年度から現地番

## 2. 計画した事業等は予定どおり進捗・完了したか。また、中心市街地の活性化は図られたか。(個別指標ごとではなく中心市街地の状況を総合的に判断)

### 【進捗・完了状況】

- ①概ね予定通り進捗・完了した      ②予定通り進捗・完了しなかった

### 【活性化状況】

- ①活性化した  
②若干活性化した  
③計画策定時と変化なし  
④計画策定時より悪化

## 3. 進捗状況及び活性化状況の詳細とその理由(2.における選択肢の理由)

認定基本計画に記載された事業は、60事業のうち7事業が完了、51事業に着手することができたため、概ね順調に進捗・完了したといえる。

一方で、評価指標の「歩行者通行量」は令和4年度が105,613人、「拠点施設入館者数」は924,154人と、いずれも目標値を下回った。これは、新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したことが影響したものと考えられる。ただし、「拠点施設入館者数」の測定対象の一つであるかるぽーとが令和4年4月から令和5年3月まで大規模改修工事に伴う休館のため令和4年度の入館者数には反映されておらず、その他の測定対象であるオーテピア、高知城歴史博物館、高知よさこい情報交流館は前年度から入館者数は増加している(対前年比約10%、53%、77%増加)。また、ソフト事業は令和3年度に軒並み規模縮小・中止となっていたイベントが令和4年度に実施されるなど、中心市街地の賑わいが徐々に回復しつつあり、「歩行者通行量」についても令和4年度は前年度に比べ1,425人増加している。

もう一つの評価指標である「中心市街地の居住人口の割合」については、中心市街地区域内の民間分譲マンション整備が順調に完了したこともあり、令和4年度最新値が1.83%と目標値の1.65%を達成することができた。

こうした状況を踏まえ、評価指標の「歩行者通行量」、「拠点施設入館者数」は目標を達成していないものの改善傾向にあることと、「中心市街地の居住人口」については目標を大幅に超過して達成しているため、中心市街地は「若干活性化した」とする。

## 4. 中心市街地活性化基本計画の取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

### 【活性化状況】

- ①活性化した  
②若干活性化した  
③計画策定時と変化なし  
④計画策定時より悪化

### 【詳細を記載】

高知市中心市街地活性化基本計画では、「すべての世代が永く住み続けられるまち」、「多くの人が回遊するまち」、「また訪れたいと思うまち」の実現を目標とし、基本計画に記載された事業を概ね予定通り進捗・完了し、中心市街地は若干活性化したものと評価できる。

計画期間において、中心市街地では民間分譲マンションの建設が次々と進んだことに加え、丸ノ内緑地が整備され、今後も藤並公園の整備が予定されている。こうしたハード事業が順調に進捗し、基本計画の評価指標1「中心市街地の居住人口割合」の目標値達成に寄与したと考えられ、居住環境の向上や人口増加によるポテンシャルの強化により、活性化の基盤が完成しつつある。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症拡大による市民の外出控えの長期化や、観光客の減少等の影響を受け、評価指標2「歩行者通行量」、評価指標3「拠点施設入館者

数」は目標値に達していないが、中心市街地における居住人口の増加は、今後の歩行者通行量等の回復に密接に結びつくものと考えられる。

令和5年5月の新型コロナウイルス感染症の5類移行も踏まえ、中心市街地を訪れる人は増加していくと予想されるため、今後の取組については民間と行政がそれぞれの知恵を結集し、アフターコロナにおける社会状況の変化を想定した観光施策の強化や、DXの推進等、来街者の回遊性や滞在時間を高める仕組みを構築し、引き続き官民が連携するとともに、各機関が主体的に取組を進めていくことが重要である。

当協議会においても、新たに策定した第三期計画の目標である「暮らすにも働くにも『ぼっちり』なまち」、「おまちのさらなる魅力向上と賑わいの回復」の実現に向け、今後とも高知市・高知県と連携しながら基本計画を推進し、その事業効果が中心市街地の活性化につながることを大いに期待する。

## 5. 市民意識の変化

### 【活性化状況】

- ①活性化した
- ②若干活性化した
- ③計画策定時と変化なし
- ④計画策定時より悪化

### 【詳細を記載】

令和3年度 高知市民意識調査

※中心市街地に係る同調査は隔年で実施しており、直近の令和3年度実績を使用

○調査地域：高知市全域

○調査期間：令和3年7月7日（水）～令和3年7月28日（水）

○調査方法：令和3年6月1日現在の住民基本台帳登録者の内、20歳以上の市民268,420人の中から3,000人を無作為抽出し、調査票を郵送配布・郵送回収調査法

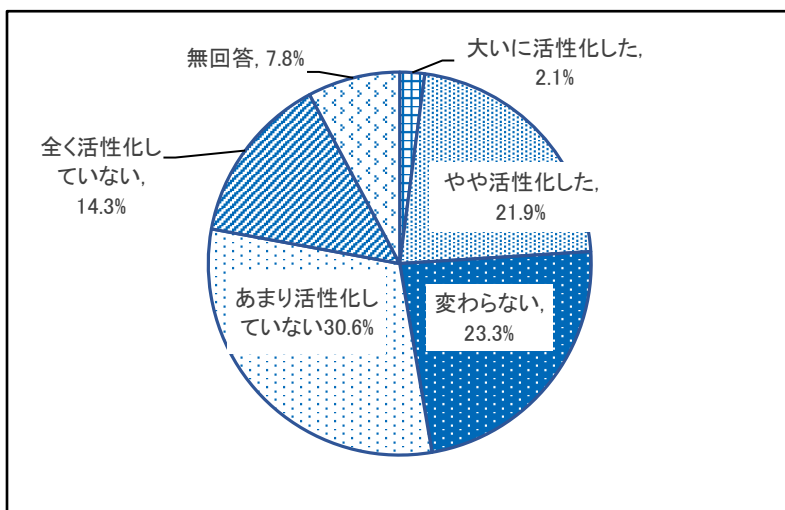
○有効回答数：1,417件（回収率47.2%）

「5年前（平成28年）と比べて、中心市街地は活性化したと思うか」という市民意識については、「あまり活性化していない」（30.6%）が最も高く、「全く活性化していない」（14.3%）と合わせると活性化していないという意見は44.9%となっている。

「大いに活性化した」または「やや活性化した」を合わせると活性化したという意見は24.0%となっており、「活性化していない」と感じている人のほうが20.9ポイント高くなっている。

これは新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えの長期化や、中心市街地で開催されていたイベントの自粛等、従来のにぎわいが減少したことが要因と考えられる。

活性化していないという意見は全体の44.9%となっているが、活性化した又は変わらないの意見を合わせると47.3%と、変わらない以上の意見も多く見受けられることから、活性化状況は「計画策定時と変化なし」とした。



## 6. 今後の取組

本市では、認定基本計画（第一期計画・第二期計画）に基づき、中心市街地に存在する地域資源の活用や、それらの魅力を活かした活性化施策の推進により、オーテピア等のハード整備が進み、中心市街地の魅力が向上したほか、令和元年までは歩行者通行量や拠点施設入館者数が増加しつつあった。しかし、令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響により中心市街地の来街者が大幅に減少し、令和3年度、令和4年度はそれぞれ前年より歩行者通行量が増加したものの、近年の物価高騰等の影響もあり新型コロナウイルス感染症拡大前の水準まで回復していない。

物価高騰や人口減少に伴う経済の課題に加え、新型コロナウイルス感染症の5類見直しや、DX推進等による社会の変化に対応し、引き続き中心市街地の活性化に取り組んでいくため、第三期計画を策定し、以下の方針等に基づき設定した目標の実現に向けて計画に登載した58事業を官民連携して推進していく。

第三期計画のコンセプト「暮らす・働く・訪れ遊ぶ 魅力共創のおまちへ」

方針1：暮らしたいまち・働きたいまちの実現

目標①暮らすにも働くにも「ぼちり」なまち

「立ち寄りしたい」「滞在したい」と思い、日頃よく利用したくなるまちづくりを進めることで、中心市街地を主に利用する居住者や通勤・通学者が、快適で居心地よく感じられる空間を実現し、地元へ愛着を感じることで「暮らしたいまち」、「働きたいまち」の実現を図る。

方針2：訪れたいまちのきっかけづくり・滞在したいまちの仕組みづくり

目標②おまちのさらなる魅力向上と賑わいの回復

商業・観光・文化など、あらゆる機能を強化・充実させることで、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた中心市街地の求心力と回遊性を回復させていく。市郊外、県内外、海外から来街者及び交流者を少しずつ回復・増加させることで事業者・店舗の増加や売上向上にもつなげる。

## II. 目標ごとのフォローアップ結果

### 1. 各目標の達成状況

目標	目標指標	基準値	目標値	基準値から目標値までの幅の8割ライン	【最新値】		達成状況
					(数値)	(年月)	
「すべての世代が永く住み続けられるまち」の実現	中心市街地の居住人口の割合	1.52% (H28)	1.65% (R4)	1.62%	1.83%	R5.4	A
「多くの人々が回遊するまち」の実現	歩行者通行量 (17地点)	119,447人 (H28)	123,278人 (R4)	122,512人	105,613人	R4.12	C
	東エリアの歩行者通行量【参考指標】	34,671人 (H28)	35,585人 (R4)	35,402人	33,799人	R4.12	—
	西エリアの歩行者通行量【参考指標】	80,045人 (H28)	82,940人 (R4)	82,361人	66,416人	R4.12	—
	周辺エリアの歩行者通行量【参考指標】	4,731人 (H28)	4,753人 (R4)	4,749人	5,398人	R4.12	—
「また訪れたいと思うまち」の実現	拠点施設入館者数(4施設)	1,159,555人 (H28)	1,748,000人 (R4)	1,630,311人	924,154人	R5.3	C

#### < 達成状況の分類 >

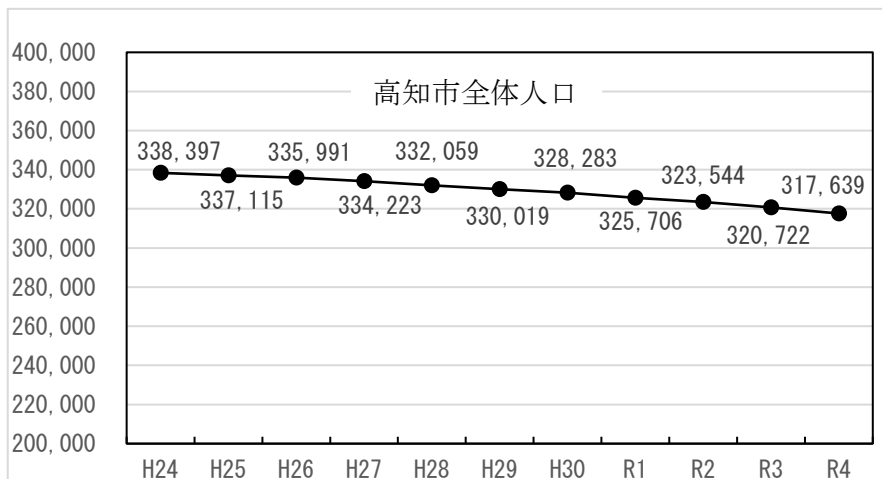
- A : 目標達成 (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- a : 目標達成 (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B1 : 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- b1 : 基準値から目標値までの幅の8割ラインを超えている (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- B2 : 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- b2 : 基準値より改善しているが、基準値から目標値までの幅の8割ラインには及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)
- C : 基準値に及ばない (関連する事業等は概ね予定どおり進捗・完了)
- c : 基準値に及ばない (関連する事業等は予定どおり進捗・完了しなかった)

## 2. 目標指標ごとのフォローアップ結果

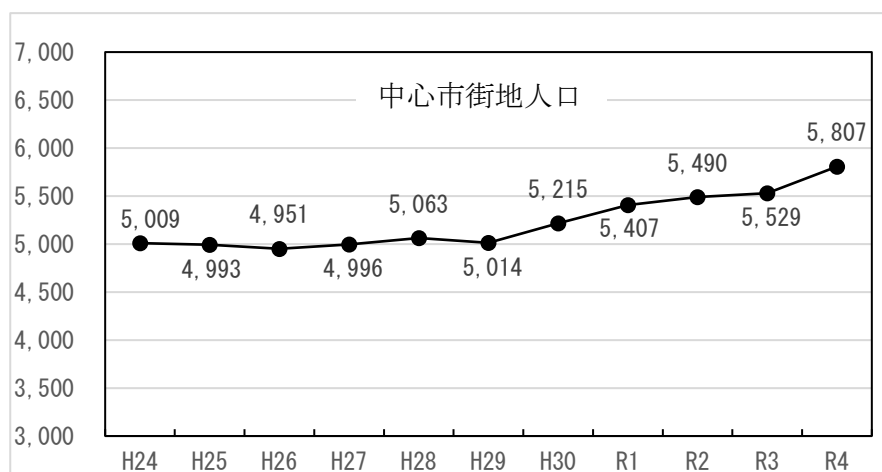
### (1) 「中心市街地の居住人口の割合」(目標の達成状況【A】)

※目標値設定の考え方認定基本計画 P68～P70 参照

#### ●調査結果と分析



年	(単位)
H28	1.52% (基準年値)
H29	1.52%
H30	1.59%
R1	1.66%
R2	1.70%
R3	1.72%
R4	1.65% (目標値) 1.83% (最新値)



※調査方法：基本計画区域内の町丁目別及び市全体の住民基本台帳人口

※調査月：毎年4月1日

※調査主体：高知市

※調査対象：基本計画区域内及び高知市の居住者

#### 〈分析内容〉

中心市街地の人口については、主要事業である民間分譲マンションの整備事業が予定通り事業完了したことや、計画登載以外にもマンション建設が相次いでいることなどから、中心市街地の居住人口は平成29年度以降毎年増加し続けている。令和4年度の最新値(調査日：4月1日)は5,807人、市全体の人口に対する割合は1.83%となり、目標を達成している。

#### ●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

##### ① 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業(民間事業者)

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【済】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及	国の支援措置なし

び支援期間	
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】82人の居住人口増加 本事業完了により、住宅用36戸が完売し、居住人口の増加に寄与したものと考えられる。
達成した（出来なかった）理由	中心市街地居住人口の割合は令和4年度に目標を大きく上回っていることから、目標数値の達成に十分寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加が期待できる。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

②. 「クリアホームズ高知駅前 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	北本町二丁目地区において民間分譲マンションを整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】89人の居住人口増加 本事業完了により、供給戸数55戸が完売し、居住人口の増加に寄与したものと考えられる。
達成した（出来なかった）理由	中心市街地居住人口の割合は令和4年度に目標を大きく上回っていることから、目標数値の達成に十分寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加が期待できる。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

③. 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】68人の居住人口増加 本事業完了により、供給戸数42戸が完売し、居住人口の増加に寄与したものと考えられる。
達成した（出来なかった）理由	中心市街地居住人口の割合は令和4年度に目標を大きく上回っていることから、目標数値の達成に十分寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加が期待できる。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。



④. 「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】61人の居住人口増加 本事業完了により、供給戸数38戸が完売し、居住人口の増加に寄与したものと考えられる。
達成した（出来なかった）理由	中心市街地居住人口の割合は令和4年度に目標を大きく上回っていることから、目標数値の達成に十分寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加が期待できる。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

⑤. 移住・定住促進事業（高知市）

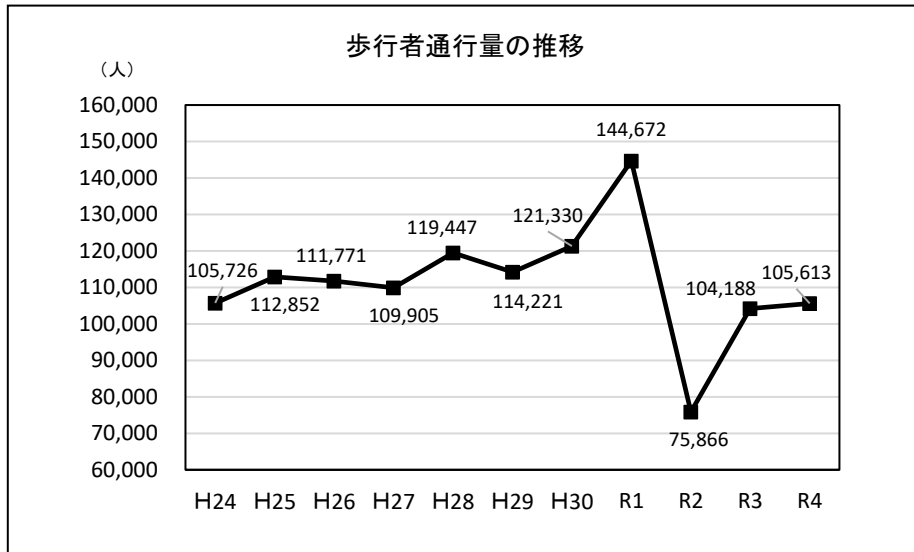
事業実施期間	平成27年度～令和4年度【実施中】
国の支援措置名及び支援期間	連携中枢都市に対する普通交付税
事業概要	街の魅力や移住・定住に関する情報発信や、三世帯同居等となる子育て世帯の転入・定住費用に対する支援など、移住・定住を促進するための各種施策を実施するもの
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】34人の居住人口増加 【最新値】目標積算時の考え方により算定：1,341世帯×2.20%＝29.5世帯（H30～R4までの県外からの移住組数×R5.3月末現在の市全体に対する中心市街地の世帯数の割合） 29.5世帯×1.55人（移住1世帯あたりの平均居住人数（R4年度実績））＝45人の居住人口増加（目標達成）
達成した（出来なかった）理由	移住・定住の促進に向け、移住支援の内容充実を図りながら各種施策を実施し、目標達成することができた。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び歩行者通行量増加に寄与している。
事業の今後について	引き続き、移住希望者対象としたガイドツアーの実施や各種補助の実施等により、移住・定住の促進に向けた支援を行っていく。

●今後の対策

令和5年度も1棟のマンション建設が予定されているため今後も居住人口が増加すると予測されることや、藤並公園の整備など都市公園のリニューアルを順次実施していく予定であり、さらに居住環境の向上を図り、街なか居住を推進していく。新たに策定した第三期計画では、評価目標の一つとして中心市街地の居住人口を設定しており、令和3年度の5,529人を基準として、計画掲載事業の実施等から居住人口の増加を見込み、令和9年度末の目標数値を5,776人としていたが、令和4年度の居住人口が前年度から大幅に増加し、5,807人となったことから、急激な増加要因について分析を行うとともに、第三期計画の目標数値を修正することも視野に推移を注視する。

(2) 「歩行者通行量 (17 地点・冬季・平日休日 2 日の合計)」 (目標の達成状況【C】)  
 ※目標設定の考え方基本計画 P71～P76 参照

●調査結果と分析



年	(単位)
H28	119,447 人 (基準年値)
H29	114,221 人
H30	121,330 人
R1	144,672 人
R2	75,866 人
R3	104,188 人
R4	123,278 人 (目標値) 105,613 人 (最新値)

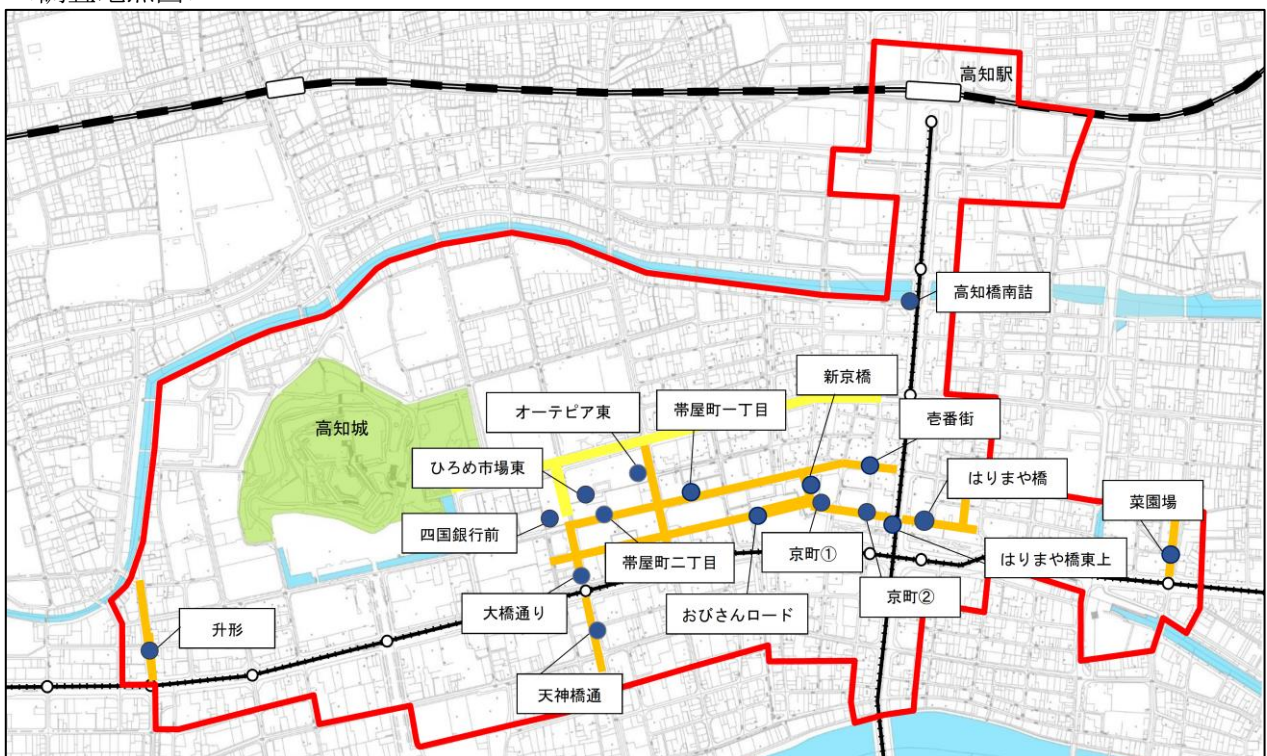
※調査方法：中心市街地内の 17 地点において、毎年 12 月の第 3 金曜日及び日曜日に実施。  
 10 時～18 時の間に通行する歩行者を計測。

※調査月：令和 4 年 12 月

※調査主体：高知市、高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内 17 地点の歩行者

<調査地点図>



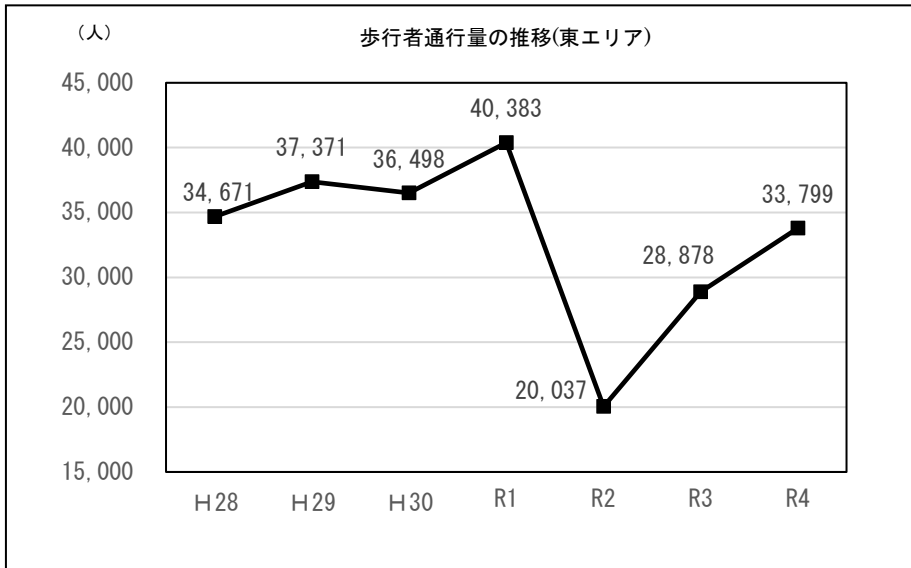
(単位：人)						
	平成 29 年度 (計画前年度)	平成 30 年度 (1 年目)	令和元年度 (2 年目)	令和 2 年度 (3 年目)	令和 3 年度 (4 年目)	令和 4 年度 (5 年目)
大橋通り商店街	8,163	8,943	11,226	7,221	8,334	7,026
帯屋町二丁目商店街	18,078	22,758	30,945	11,772	18,339	16,869
帯屋町一丁目商店街	17,910	24,615	25,473	12,801	18,192	17,078
おびさんロード商店街	3,402	3,243	4,491	2,322	2,667	3,078
壱番街商店街	8,469	8,292	9,600	5,361	7,308	8,619
新京橋商店街	5,781	6,771	7,041	3,039	4,848	5,845
京町商店街①	5,760	5,880	6,615	3,114	3,876	5,367
京町商店街②	7,011	6,681	7,278	3,504	5,478	6,120
はりまや橋商店街	4,959	5,265	5,541	2,880	4,134	4,419
はりまや橋東上	5,391	3,609	4,308	2,139	3,234	3,429
菜園場商店街	1,005	1,056	864	612	960	1,176
升形商店街	1,077	708	1,041	858	1,122	1,314
天神橋通商店街	3,021	3,264	2,475	2,352	2,733	2,754
四国銀行帯屋町支店前	6,562	5,202	6,111	4,726	6,603	7,162
ひろめ市場東	9,026	6,636	11,322	6,586	7,981	7,312
オーテピア東	5,218	5,069	6,491	4,310	5,610	5,137
高知橋南詰	3,388	3,338	3,850	2,269	2,769	2,908
合計	114,221	121,330	144,672	75,866	104,188	105,613

#### 〈分析内容〉

中心市街地では平成 27 年度に帯屋町チェントロ、平成 29 年度に高知城歴史博物館、平成 30 年度にオーテピアが整備され、新たな人の流れや賑わいが生まれたことに伴い、近年は歩行者通行量が増加傾向にあり、令和元年度の歩行者通行量は 144,672 人と、本市が中心市街地基本計画の取組を開始した平成 24 年度以降最も高くなっていた。

しかし、令和 2 年度以降新型コロナウイルス感染症拡大により来街者は減少傾向となり、令和 2 年度の調査日は、高知県が飲食店等に営業時間短縮を要請した期間中で市民・県民が不要不急の外出を控えていたことから計測結果は 75,866 人と、平成 24 年度の調査開始以降最も低い数値となった。令和 4 年度の調査日においては県内の感染状況は増加傾向にあり、高知県の発出する警戒レベルは「警戒強化(赤)」であったものの、計測結果は 105,613 人となり、基準値である平成 28 年の 119,447 人には届かなかったが、前年度と比較すると若干改善傾向がみられた。

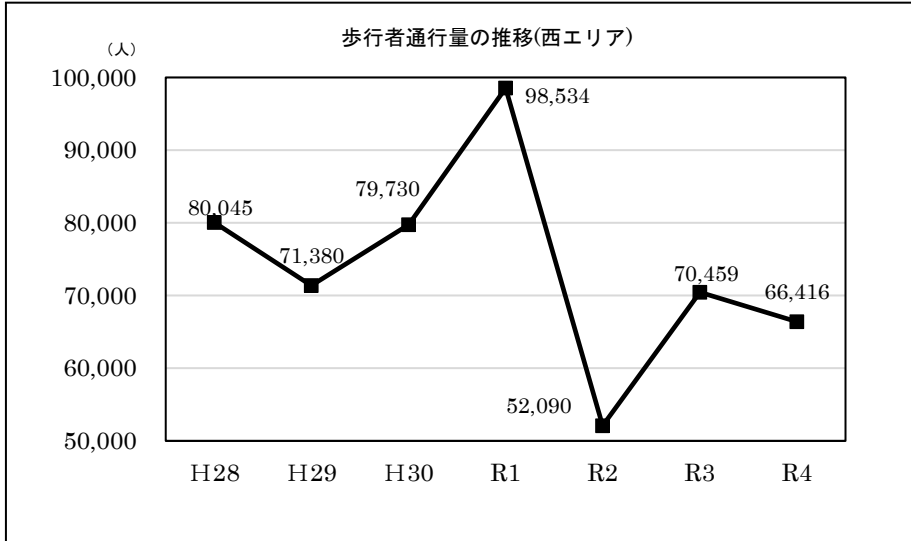
<参考指標> エリア別の歩行者通行量  
 (参考指標① 東エリア (6地点) の歩行者通行量)



年	(単位)
H28	34,671 人 (基準年値)
H29	37,371 人
H30	36,498 人
R1	40,383 人
R2	20,037 人
R3	28,878 人
R4	35,585 人 (目標値) 33,799 人 (最新値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による  
 ※調査月：毎年12月  
 ※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会  
 ※調査対象：中心市街地内の歩行者

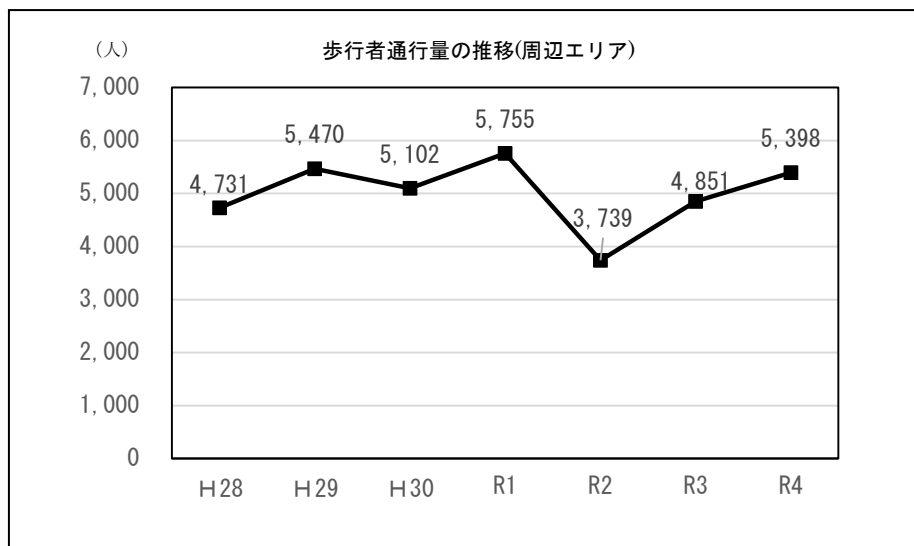
(参考指標② 西エリア (8地点) の歩行者通行量)



年	(単位)
H28	80,045 人 (基準年値)
H29	71,380 人
H30	79,730 人
R1	98,534 人
R2	52,090 人
R3	70,459 人
R4	82,940 人 (目標値) 66,416 人 (最新値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による  
 ※調査月：毎年12月  
 ※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会  
 ※調査対象：中心市街地内の歩行者

(参考指標③) 周辺エリア (3地点) の歩行者通行量



年	(単位)
H28	4,731 人 (基準年値)
H29	5,470 人
H30	5,102 人
R1	5,755 人
R2	3,739 人
R3	4,851 人
R4	4,753 人 (目標値) 5,398 人 (最新値)

※調査方法：「商店街歩行者通行量調査」による

※調査月：毎年 12 月

※調査主体：高知市，高知県商店街振興組合連合会

※調査対象：中心市街地内の歩行者

●目標達成に寄与する主要事業の計画終了後の状況及び事業効果

① オーテピアにおけるソフト事業 (高知県, 高知市)

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや，日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】 7,066 人増加 【最新値】 目標積算時の考え方により算定： $(839,370 \text{ 人} \div 294) \text{ 人}$ (令和 4 年度 1 日あたりの平均入館者数) = 2,855 人 $2,855 \text{ 人} \div 2$ (入館者数の半数がまちを回遊) $\times 2$ 日間 (計測日数) $\times 2$ (2 か所を回遊) = 5,710 人増加 (目標未達成)
達成した (出来なかった) 理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し，インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したことが理由と考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心商店街周辺の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は，感染症対策を行いながら参加し，オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。

② 高知大丸リニューアル事業 (株式会社 高知大丸)

事業実施期間	平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	中心市街地に唯一立地する百貨店である高知大丸東館のリニューアルを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし

事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】1,733人増加 【最新値】872人減少（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	高知大丸に近接した周辺商店街の歩行者通行量増加に寄与している。
事業の今後について	リニューアルされた大丸東館5階の「高知ローカリティフロア」において、れんけいこうち広域都市圏ネットワークを活かした高知県産品を取扱う販売ブースや、物販及び飲食に係る期間限定のチャレンジショップを設置し、地域に密着した百貨店として高知の魅力を発信することで、中心市街地の核店舗としてプレゼンスをいっそう向上させ、来街者の増加に寄与し、中心市街地のにぎわいを創出していく。

### ③ 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）

事業実施期間	平成28年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜日や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】1,282人増加 【最新値】目標積算時の考え方により算定：(52,913人÷358日)人(令和4年度1日あたりの平均入館者数)＝約148人 148人÷2(入館者数の半数がまちを回遊)×2日間(計測日数)×2(2か所を回遊)＝296人増加(目標未達成)
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜日と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

### ④ 帯屋町一丁目地区複合施設整備事業（民間事業者）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和3年度【済】
事業概要	商業店舗や映画館と共同住宅の複合施設を整備するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】164人増加 【最新値】105,613人の内数(目標未達成)
達成した（出来なかった）理由	本事業完了により、住宅用36戸が完売し、歩行者通行量の増加に寄与したのと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加に寄与している。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

### ⑤ 街なか空間有効活用事業（高知市，商店街，民間事業者）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
--------	-------------------

事業概要	中心市街地に点在する未利用地や空き店舗、公共空間等においてイベントを開催する等有効利用を図るもの。
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】360人増加 【最新値】105,613人の内数（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	上記理由のとおり、令和2年度以降中止や縮小を余儀なくされた事業も多いが、特に令和4年度以降は状況を見ながら再開されているイベントもあり、賑わいの創出に寄与している。
事業の今後について	新型コロナウイルス感染の収束状況を見ながら、高知大道芸フェス2023等、未利用地を有効活用した各種イベントを開催していく。

#### ⑥ レンタサイクル事業（高知市）

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	中心市街地を快適に回遊できるレンタサイクルの導入及び実施
国の支援措置名及び支援期間	都市再生整備計画道路占用許可の特例、都市公園の占用許可の特例（活用予定）
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】175人増加 【最新値】－
達成した（出来なかった）理由	第二期計画期間中に事業スキームの検討を行い、令和4年3月にシェアサイクルがスタートした。実動して間もないため、最新値に反映できていない。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の回遊性の向上に一定寄与していると考えられるが、詳細な分析は今後になる。
事業の今後について	利用状況を踏まえ、サイクルポートの増設等今後の事業展開を検討していく。

#### ⑦ 学生活動交流館事業、学生と商店街の連携事業（高知市、商店街、学生）

事業実施期間	学生活動交流館事業：平成25年度～令和4年度【実施中】 学生と商店街の連携事業：平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	京町商店街にある高知市学生活動交流館の運営及び当該施設における学生グループの活動支援を行うとともに、その他商店街と連携した学生主催のイベントを企画、実施する。
国の支援措置名及び支援期間	学生活動交流館事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度） 学生と商店街の連携事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】160人増加 【最新値】105,613人の内数（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による学生活動の制限や、外出控えが長期化により、令和2年度以降学生を含む来街者が減少したことが理由として考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	令和4年度はおまち学園やスポーツGOMI拾い等学生による利用も再開されており、来街者の交流の場として効果が再び現れてきている。
事業の今後について	高知市学生活動交流館において、学生グループ等が実施する作品展示、実習等の活動への貸出しを行う。また、利用率の向上にむけて、施設

	のPRを行う。 商店街との連携事業についても、「高知おまち学園」に関連するイベントを実施予定。
--	--

⑧ 「ロイヤルガーデンはりまや町」整備事業（株式会社和田コーポレーション）【再掲】

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	はりまや町一丁目地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】136人増加 【最新値】105,613人の内数（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	本事業完了により、供給戸数42戸が完売し、歩行者通行量の増加に寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加に寄与している。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

⑨ 「クリアホームズ升形 ザ・レジデンス」整備事業（セントラル総合開発株式会社）【再掲】

事業実施期間	平成30年度【済】
事業概要	升形地区における民間分譲マンションの整備
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】122人増加 【最新値】105,613人の内数（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	本事業完了により、供給戸数38戸が完売し、歩行者通行量の増加に寄与したものと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の居住人口増加及び周辺の歩行者通行量増加に寄与している。
事業の今後について	増加した人口について更なる回遊性の向上や地元購買による経済の活性化につながるよう引き続き各事業に取り組んでいく。

⑩ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）

事業実施期間	まんがイベント事業：平成15年度～令和4年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）、文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】104人増加 【最新値】－（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	令和4年4月から令和5年3月まで「かるぽーと」の大規模改修による休館のため、目標値積算根拠の入館者増加数を算出できず最新値に反映できていない。
計画終了後の状況及び	令和5年度以降はかるぽーとの再開や新型コロナウイルス感染症の



び事業効果	状況を踏まえ、各種イベントも通常開催できる予定であり、1年を通じた芸術・文化イベントの実施により来街の促進に寄与していくものと考えられる。
事業の今後について	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施する。

⑪ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）

事業実施期間	平成25年度～令和4年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成25年度～令和4年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】18人増加 【最新値】105,613人の内数（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	周辺商店街の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

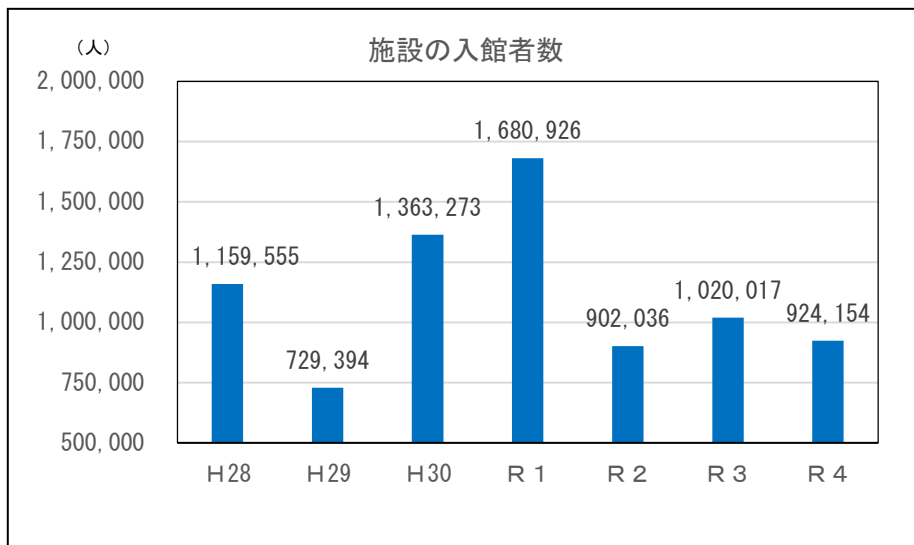
●今後の対策

基本計画の推進により歩行者通行量は順調に増加しており、令和元年度には目標値を達成していたが、令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大により来街者は大幅に減少した。令和3年度、令和4年度と増加したものの、105,613人と、基準値にも届かない結果となった。帯屋町一丁目地区複合施設整備事業など目標達成に関連する主要ハード事業は概ね整備が完了した一方で、ソフト事業については、商店街やオーテピア、高知城歴史博物館を中心に展開されるイベントが開催されたが、新型コロナウイルス感染症の影響による来街者減少が長引いており、厳しい状況が続いた。今後、新型コロナウイルス感染症が収束する状況になれば、インバウンドや観光客の増加等が想定される。こうした機会を活かし、にぎわいの回復へつなげるため、中心市街地の魅力をさらに高めることが必要である。第三期計画期間では、既存の施設に加え、第二期計画期間中に整備されたこうち観光ナビ・ツーリストセンターや高知大丸東館のOMACHI360等も拠点とし、官民連携したソフト事業の実施により、来街者の回遊性や滞在時間の向上を図っていく。

### (3)「拠点施設入館者数」(目標の達成状況【C】)

※目標設定の考え方基本計画 P84～P87 参照

#### ●調査結果の推移



年	(単位)
H28	1,159,555 人 (基準年値)
H29	729,394 人
H30	1,363,273 人
R1	1,680,926 人
R2	902,036 人
R3	1,020,017 人
R4	1,748,000 人 (目標値) 924,154 人 (最新値)

※調査方法：拠点施設（4施設）ごとに日常的に計測し、年間入館者数を集計

※調査月：毎年4月

※調査主体：高知県、高知市

※調査対象：オーテピア、高知城歴史博物館、かるぼーと、高知よさこい情報交流館の4施設（H29年度はオーテピアが開館前のため、3施設の入館者数の合計値）

#### 〈分析内容〉

新型コロナウイルス感染症が拡大するまでは、オーテピアや高知城歴史博物館でのソフト事業の着実な実施や、高知市文化プラザかるぼーとにおける芸術文化振興事業及びまんがイベント事業の充実等により、令和元年度の拠点施設入館者数は1,680,926人と目標達成に大きく近づいていた。令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことやイベントの中止及び外出控えなどが影響して大幅に減少した。また、令和4年4月から令和5年3月まで「かるぼーと」の大規模改修工事による全館休館の影響もあり、令和4年度は924,154人と、平成28年の基準値である1,159,555人にも届かない結果となっている。

#### ●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

##### ①オーテピアにおけるソフト事業（高知県、高知市）【再掲】

事業実施期間	平成30年度～令和4年度【実施中】
事業概要	オーテピア多目的広場を活用した各種イベントや、日曜市・中心商店街と連携した取組を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】379,842人増加 【最新値】219,212人増加（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したことが理由と考えられる。
計画終了後の状況及	中心商店街周辺の回遊性向上に寄与している。

び事業効果	
事業の今後について	中心商店街が実施する「土曜夜市」や「まちゼミ」等のイベントが開催される場合は、感染症対策を行いながら参加し、オーテピアから商店街への人の流れを創出していく。

② 高知城歴史博物館ソフト事業（高知県）【再掲】

事業実施期間	平成 28 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知城歴史博物館において、多彩なイベント、日曜日や中心商店街との連携事業、情報発信等を実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】189,359 人増加 【最新値】42,272 人増加（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	中心市街地の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	目標達成に向けて、日曜日と関連したイベント、まちの歴史文化スポットに関する情報提供などを継続して実施していく。

③ まんがイベント事業、芸術文化振興事業（高知県、高知市、民間事業者）【再掲】

事業実施期間	まんがイベント事業：平成 15 年度～令和 4 年度【実施中】 芸術文化振興事業：平成 30 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	まんがに関するイベントの開催や地元商店街と連携したイベント等を実施する。また、県民文化ホール、かるぽーと等での芸術・文化イベントの実施により来街促進を図る。
国の支援措置名及び支援期間	まんがイベント事業：中心市街地活性化ソフト事業（総務省）、文化芸術振興費補助金 芸術文化振興事業：国の支援措置なし
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】16,302 人増加 【最新値】－
達成した（出来なかった）理由	令和 4 年度はかるぽーとが大規模改修工事による休館のため最新値に反映できていない。
計画終了後の状況及び事業効果	1 年を通じた芸術・文化イベントの実施により来街の促進に寄与している。
事業の今後について	「まんが甲子園」、「まんさい」、「全国漫画家大会議 in まんが王国・土佐」を継続して実施する。

④ 高知よさこい情報交流館運営事業（高知市）【再掲】

事業実施期間	平成 25 年度～令和 4 年度【実施中】
事業概要	高知よさこい情報交流館の運営を行い、よさこいをテーマとした展示やよさこい祭り開催時以外でもよさこいを体感できるイベントを実施するもの
国の支援措置名及び支援期間	中心市街地活性化ソフト事業（総務省）（平成 25 年度～令和 4 年度）
事業目標値・最新値及び達成状況	【事業目標値】2,942 人増加 【最新値】－22,187 人減少（目標未達成）
達成した（出来なかった）理由	新型コロナウイルス感染症拡大による外出控えが長期化し、インターネット通販やリモートワークの定着等により中心市街地への来街者が

	大幅に減少したためと考えられる。
計画終了後の状況及び事業効果	周辺商店街の回遊性向上に寄与している。
事業の今後について	よさこい情報交流館あり方検討を踏まえた、よさこい情報交流館の運営（インバウンド観光推進、全国よさこい情報の充実化、商店街との連携強化等）や、よさこい企画展の開催などに引き続き取り組むことで、来街の促進や回遊性の向上を図っていく。

### ●今後の対策

拠点施設の入館者数については、令和2年度以降は新型コロナウイルス感染症の影響により各施設が休館していたことやイベントの中止及び外出控えなどが影響して大幅に減少した。また、令和4年4月から令和5年3月まで「かるぽーと」の大規模改修による全館休館の影響もあり令和4年度は924,154人と、新型コロナウイルス感染症の影響を受ける前の令和元年度（1,680,926人）の約55%となっている。

一方で、令和4年度に休館していたかるぽーと以外の拠点施設については前年度から入館者数は増加しており、今後も地元商店街と連携したイベントの実施など継続的なソフト事業を展開し、中心市街地の魅力向上に取り組む。